

都会の田舎を楽しもう！

小金井このまちガイド

KOGANEI

KONO-MACHI GUIDE

はけが育む
水辺の緑を歩く
暮らしを楽しむ
身近なプチイベント

自然であそぶ①
エンタメが充実②
この街で働く③

小金井カルチャー④
地域をつなぐ⑤
子どもを笑顔に！⑥
地元野菜で健康に⑦



小金井 このまちガイド

KOGANEI
KONO-MACHI GUIDE

CONTENTS

小金井このまちガイドマップ	44
こがねいみやげ／奥付	46
こきんちゃんグッズ／CoCoバス	47
小金井市観光まちおこし協会の情報発信	48



掲載されているスポットや店舗の詳しい情報は小金井市観光まちおこし協会ホームページでご確認ください。

chap・1～7や各ページのタイトル横に入っているQRコードを読み込むと、そのchapごとのスポットやお店のURLが表示されます。



このまちは、JR中央線で新宿から30分ほどの位置にあります。なのになんだか、とってもものんびりとしたまちです。それは、都会的なビル群のかわりに、水と緑をたたえた広々とした公園や、散歩やサイクリングが楽しめる緑道や遊歩道、趣のある坂道がたくさんあるから。そんな、「都会の田舎」は、ちょうどいいご近所にちっちゃな楽しみがたくさんあって、ちょうどいい距離を保っています。

新しい日常が求められる時代、わざわざ遠くまで行かなくても、遊びも仕事も、日常生活も、なんでもできちゃう「このまち」をもつと活用しましょう。



小金井市
面積: 11.30km² (東西4.1km、南北4.0km)
人口: 約123000人 (令和3年2月1日現在)
市の木: ケヤキ 市の鳥: カワセミ
市の花: サクラ 市の虫: カンタン

小金井市は東京都のほぼ中央、武蔵野台地の南西部にあり、都心から約25km西方に位置しています。市の中央にJR中央線が走り、北側には都立小金井公園と玉川上水、南側には都立武蔵野公園・都立野川公園と野川があり、都会の利便性と自然の豊かさをあわせ持つ町として注目されています。また、玉川上水沿いの桜並木は名勝小金井(サクラ)として大勢の花見客が訪れる場所であり、南側の国分寺崖線は「はけ」とも呼ばれ、そこから流れ出る湧水とともに、武蔵野の雑木林の風情を残す場所として地元の人々に親しまれています。



都立武蔵野公園野川第2調節池付近



野趣あふれる景色が続き、美しい
緑道や公園が広がる。水と緑に恵
まれた、小金井の自然の楽しみ方
を紹介します！

はけが育む 水辺の緑を歩く



野川

野川では、公園の原っぱと
水辺を行き来して遊ぶ子どもたちの姿がよく見られる。

「はけ」と呼ばれるこの河岸段丘は、古多摩川の流路が武藏野台地を削ったことで生まれた地形です。坂の周辺は雑木林などの武藏野の緑が多く残り、四季の移ろいも感じられる、趣のある景色が広がっています。また、武藏野台地は土砂が堆積した扇状地で、雨が降ると目の粗い礫層に水が染み込み、崖線の下などの低地で湧水として流れ出します。自然が生み出した水は、昔から大切にされ、「黄金のような水が湧く土地」として「小金井」と名付けられたとも言われています。このように、高低差のある地形があることで、市内の南側には、豊かな武藏野の緑と、豊富な水に恵まれた景色がたくさん残されています。

人々に親しまれ、暮らしの中で、



都立武藏野公園

秋には野川沿いの遊歩道を
彩る紅葉も美しい。

都立野川公園

湧水広場や自然観察園など
自然を楽しむ公園。

今も昔も大切にされている景色のひとつが、野川です。湧水が集まってきた川には、カワセミやコサギのような野鳥も訪れます。川幅も細く水深も浅いので、スジエビやメダカなどを探して遊ぶ親子の姿も。犬と散歩をしたり木陰に座ったりと、河原に下りて歩くだけでも、ほんの少し気分転換になるような、特別な時間をお過ごすことができるでしょう。

この野川を下流に進んでいくと、河川に隣接するよう広がっているのが、都立の武藏野公園と野川公園です。原っぱにこんもりと浮かび上がる武藏野公園の「くじら山」。そのてっぺんに登つて景色を見渡すと、はけが作り出した緑のベルトが目の前に広がります。ゆるやかな起伏が続く芝生や、木陰が連なる湧水広場などがある野川公園では、訪れる人々がそれぞれにお気に入りの場所を見つけて座り、ピクニックや水遊びなどを楽しんでいます。水辺と緑に恵まれた坂下の風景は、四季折々の雄大な自然が訪れる人々を受けとめてくれる、市民に愛される憩いの場なのです。

握飯屋

注文を受けてから、ひとつずつ丁寧に握っているふっくらとしたおむすびは、定番から変わり種まで具の種類も豊富で、おむすびの概念が変わる新しい発見も！ お店に立ち寄る前に、電話であらかじめ予約をしてからのテイクアウトがおすすめ。



WISE MAN COFFEE 4



たちよりスポット

WISE MAN COFFEE

オーストラリアやカナダのパリスタで修行した店主が自家焙煎し、丁寧に淹れてくれる一杯は、日常の中に贅沢な時間をくれる美味しさ。海外のカフェにもよく通っていたという店主が作り上げた店内は、ひとりで訪れてても心地よい雰囲気。キャラメルソースのかかったフレンチトーストも人気。

どこまでも広がる自然が、
日常を特別な時間にしてくれる

小金井市の南側には、国分寺崖線という河岸段丘の連なりが横断しています。このことから地形にはゆるやかな斜面が生まれ、崖線を挟んで北側と南側に高低差を作り出しています。

自然が生んだ

はけの高低差を感じる

小金井市には、はけと呼ばれる国分寺崖線が作り出された、起伏のある地形が広がっています。坂の周辺は開発がしにくいため、雑木林など昔ながらの武蔵野の風景も多く残されています。高低差があるからこそ見ることのできる、見晴らしの良い景色や、四季の移ろい。このはけ周辺には、湧水に恵まれた庭園や寺社なども点在しています。自然の中に佇むお気に入りの坂道を見つけて、近所をのんびり散策してみませんか？

かつては農道だったこの坂は、その昔、「陽が落ちて暗くなつてからこの坂を通ると、タヌキ（ムジナ）に化かされる」という噂が立ったことから、「ムジナ坂」と名付けられました。車通りの多い、にぎやかな連雀通りからこの坂に入り、覆いかぶさるように緑が続く長い階段を抜けると、武蔵野公園や野川など、過去にタイムスリップしたかのような武蔵野の懐かしい景色が広がっています。

国分寺崖線のはけ周辺はかつての別荘地帯で、湧水を巧みに生かした庭園が今でもいくつか残っています。そのひとつが、この滄浪泉園。明治・大正期に三井銀行の役員や外交官、衆議院議員などを歴任した、波多野承五郎の別荘だった場所で、湧水を貯めた池を回遊するように庭が作られています。池を見下すことのできる展望台や、足を休める東屋などもあり、秋には池に映る紅葉を楽しむこともできます。



ムジナ坂



今と昔の
景色を結ぶ
緑のトンネル

キンランやカントウタンポポなどが自生し、コゲラなどの野鳥も訪れるなど、武蔵野本来の貴重な自然環境を見ることができる緑地。水に恵まれた貫井神社境内も近いことから、縄文時代は集落も多くあり、過去20数回にわたる発掘調査では、多くの縄文土器や土偶も出土しています。周囲に高い建造物がなく、空と台地と緑だけが広がる静かな景色を眺めていると、遠い古代の人たちも同じ景色を見ていたのかもと、ふと思いつを馳せることができます。



三楽の森

6

湧水を楽しむ
回遊式の庭園



滄浪泉園

たよりスポット

ワイルド・チェリー・
ブロッサム・ホステル

旅行者と地域とのつながりを作る、多摩地域初の「地域密着型ホステル」として誕生。サイクリングやジョギングを楽しむ人たちが立ち寄り、ロッカーやシャワールーム、駐輪場などを利用できるサービス（有料）も行っているほか、ラウンジではコーヒーなどを購入して休憩することも可能。



12

musashino
はけの森カフェ

はけの森美術館の敷地内にある喫茶棟。洋画家・中村研一がかつて自宅として暮らしていた建物の中で、「美術の森」を眺めながら、地元小金井産の野菜をたっぷりと使った、彩りもきれいなキッシュのデリプレートや、欧風ビーフカレー、手作りのデザートなどをいただくことができる。

天正18年（1590）、水の神である水神様を貫井弁財天と奉祀。東京名湧水57選に選ばれた湧き水があり、神橋のかかる美しい池など境内のいたるところに水辺があります。豊かなその水量を活かし、大正12年（1923）には神社の南側に水泳プールが作られたことも。つつじや藤棚など、四季によって咲く花を眺めつつ、神社の東側にある石垣に囲まれた「三楽の坂」を登れば、公共緑地である「三楽の森」に出ます。



貫井神社

8



はけの土地が
育んだ水の神社

広大な緑の中で

サイクリングを 楽しむ

この土地で暮らした人々の、
知恵と記憶を辿る

小金井市の北側でも、最も緑が
多く集まっているのは都立小金井公

園です。東京緑地計画の大緑地の
ひとつであったこの場所は、戦後に
東宮仮寓所にも使用され、その後、
1954年に都市公園として開園

されました。

敷地面積は約80ヘクタール、日比
谷公園の約5倍という都内最大級
の園内には、武藏野の風情を感じら
れる雑木林が広がり、芝生広場や運
動場、遊具やドッグランなど、施設
も充実しています。歩道とは分けら
れた、自転車用のサイクリングコー
スもあり、小さな子どもの、自転車
練習の場として利用する親子連れの
姿も。

サイクリングコース以外でも、園

内には自転車で走ることのできる、

道幅の広い道路が、広場や施設を一

周するようにつながっています。自

転車に乗って、江戸東京たてもの園

側の桜の園や梅林を眺めたり、広い

芝生に下りてお弁当を食べたりと、

四季折々の緑の中で、お気に入りの



都立小金井公園 13 広い敷地で、運動を楽しむ人々の姿が多く見られる。



都立小金井公園

自転車練習もできる小金井公園の
サイクリングコース。(右)
紅葉も美しい浴恩館公園の庭。(左)

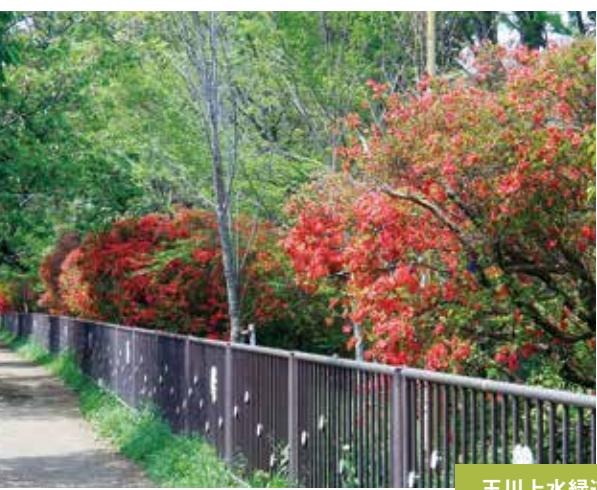
浴恩館公園

14

場所を散策するだけでも一日楽しむ
ことができます。

また、江戸の水不足を補うために
作られた玉川上水を始め、市内の北
側には、ここで暮らした人々の知恵
と努力が、住宅街の合間を縫うよう
に今もその姿を残しています。

武蔵小金井駅から小金井公園に
自転車で向かうと、玉川上水の手前
で、ゆるやかな起伏のある
坂道がいくつもあるこ
とがわかります。この坂
道を横断するように、サ
レジオ学園付近を源流
として続いているのが、
仙川です。この仙川の北
側に残されているのが、
生活用水や農業用水のた
めに作られた小金井分
水です。開発が進み役目
を終えたこの用水路は、
現在姿を変えて、私たち
に散歩を楽しめてくれ
る遊歩道などになってい
ます。



玉川上水緑道

15

住宅街の中に眠る、かつてこの土
地に暮らした人々の生活の跡。自転
車で小金井公園に向かい、ゆるやか
な坂を走りながら、その跡を辿つて
みるのも、市内北側の楽しみ方のひ
とつです。浴恩館公園内にある文化
財センターに途中立ち寄れば、この
土地の記憶をさらに知ることができます。

たちよりスポット



溶岩窯焼き立てパン工房
リトルシープ

市立一中の西隣にある。風車小屋
を思わせるパン工房は、メルヘン
チックなランドマーク。溶岩窯で
焼かれたメロンパン、ウインナーロ
ール、新発売チキンラタンパイ
も、生地は粉から作るオリジナル。
全席窓向きのイートイン、木陰の
テラス席で味わえる。コーヒーの
サービスもあり。



Cafe5884

地場野菜を中心使い、丁寧に作ら
れたヴィーガンのランチフレートが
人気のカフェ。上水桜通沿いに面し
てるので、春には玉川上水に咲く
満開の桜を眺めながら、ゆっくりと
お茶やランチを楽しむことができる。
店内に流れるゆったりとしたハワイ
アンミュージックが、時間を忘れ
させてくれる。

都立小金井公園 いこいの広場



大きな芝生の広場では、バドミントンや風
揚げなど、住宅街の
公園ではできない遊びをのびと楽し
むことができる。

お気に入りの

桜スポットを

探そう!!

桜は、小金井の「市の花」。暖かい春になると、さまざまな種類の桜が町や住宅地、公園を彩ってくれます。小金井市は桜の宝庫で、咲く場所によって、それぞれ違った美しさを楽しむことができます。国の指定を受けた「名勝小金井(サクラ)」、広い公園に雄大に咲き誇るソメイヨシノ、河原を歩きながら見上げる枝垂れ桜など、景色ごとに表情を変える桜を探しながら、自分だけの特別な桜スポットを見つけてみてください。



江戸東京たてもの園

18

江戸東京たてもの園は、約7ヘクタールという広大な敷地面積を擁する野外博物館。のびやかな武蔵野の緑が広がる園内には、江戸時代から昭和中期までに建設された、文化的価値の高い歴史的建造物30棟が移築・復元・保存・展示されています。高橋是清邸などが並ぶセンターゾーン、子宝湯や下町の風情が味わえる東ゾーン、通り沿いに様々な建築様式の住宅や、茅葺き屋根の民

日常から離れて
春の祝福を楽しむ

家が点在する西ゾーンの3つに分けられた園内は、散策しているうちに、まるで遠い昔にタイムスリップしたような気分を楽しむことができます。

園内にはヤマザクラ、サトザクラなど6種、約120本の桜が植えられ、他にも4月には、ムラサキハナ、黄色いヤマブキ、真っ白なユキヤナギなど、数多くの春の花を見ることができます。趣のある建造物や緑に囲まれた景色の中で色々花を眺めていると、慌ただしい日常も忘れて、季節の移ろいをゆったりと感じじうことができるでしょう。



都立武蔵野公園

2

野川にも隣接し、河原や雑木林、原っぱなど、野趣に富んだ緑の風景と共に桜を楽しむことができる武蔵野公園。下を向いて咲く大きな花弁が美しいオオカンザクラや、フゲンゾウと呼ばれる八重桜など、約30種、600本もの桜が咲き誇る隠れた名所。4月上旬には、園路沿いに咲くカンザン、イチヨウ等のサトザクラが見事な花のトンネルを作ります。また、東京都の各公園や、街路に植える苗木を育てる苗圃があるのも、特徴のひとつ。桜以外の季節の花も楽しむことができます。



桜とともに
感じる春の
芽吹き

都立野川公園

桜の木の雄大さに
目を奪われる!

3

豊かな自然が残されている公園の北側は、柳の新緑と合わせて桜が野川河岸を春色に染める、ここだけの景色を見ることができます。ゆるやかな起伏のある芝生が続く南側には、地面に付きそうなほど枝を伸ばした桜の下で、ピクニックを楽しむ人々の姿も。並木のように続く景色はないものの、一本一本の、桜の木の雄大さに目を奪われる公園です。春だけではなく、10月初旬はジュウガツザクラやコブクザクラも楽しむことができます。



都立小金井公園

13



何度も通いたくなる
春の名所!

玉川上水堤の桜は、1924年には「名勝小金井(サクラ)」として国の指定を受けた、小金井市の桜のシンボルでもあります。江戸時代には花見の名所としても親しまれたこの桜並木は、多くの人が見物に訪れ、葛飾北斎や歌川広重も作品に小金井の桜を残しています。都市化が進む現代で、ヤマザクラの並木がこれほど見られるのは、極めて稀なこと。遊歩道に張り出した桜を見上げて歩くと、昔の人も眺めたであろう景色に思いを馳せることができます。



野川

1

上流に咲くソメイヨシノ、そして前原町の天神橋から武蔵野公園の入口まで、約500メートル続く枝垂れ桜

は、土手に植えられた黄色いヤマブキやレンギョウ、白いユキヤナギと一緒に、鮮やかな春の知らせを私たちに届けてくれます。ソメイヨシノなどの古木も多いので、4月上旬から下旬までの長期間、桜を楽しめるのも魅力。河原に下りて水辺を歩いたり、座って寝転んだりしながら空に広がる桜を見上げれば、公園でのお花見とはまた違った、桜の美しさを味わうことができます。



玉川上水緑道

15

浮世絵師も
愛した歴史ある
桜並木



池には鯉や鴨も棲息していて、
とくに子どもたちには人気。

貫井神社

8

女性は右から、男性は左から廻ります。商売や友人関係なども縁ととらえれば、どんな縁起の良いことが起きてもおかしくありません。

元文元年（1736）に京都の伏見稲荷大社から勧請して創建されたとされる笠森稻荷神社。難病平癒のご利益があると信じられ、祈願成就のお札に奉納された朱色の鳥居群をぐぐりぬけてお参りすると、何だか異空間に迷い込んだかのようです。

長昌寺は釈迦如来を本尊とする曹洞宗の寺院。敷地内のあずま屋で休憩しながらゆっくりと自然を眺めることができます。また、「おてらじかん」として坐禅、写経、ヨガ、健康体操など、誰もが参加できる行事が本堂で開催されています。

精進料理を楽しむことのできるお寺として有名な三光院は、昭和9年（1934）に京都嵯峨野の曇華院から招かれた尼僧により開祖された臨済宗の尼寺です。春には大木の桜と門前の濃いピンク色をした枝垂れ桜とが織りなす美しさで、道ゆく人々の目を楽しませてくれます。

それぞれの場所で、自分に心地よい時間を過ごしてみませんか？

ミニコーナー

御朱印 って？

御朱印とは、いわば参拝証明書のようなもの。参拝した日付と、神社仏閣の名称、祀られている神様や仏様の名称が墨書きされています。神様・仏様の分身ともされるため、生涯を通じて集める楽しみがあります。

本来は御朱印帳を持参してその場で書いていただくのですが、今は「書き置き」という予め用意されたものを300円～500円程度の初穂料でお分けいただくことが多くなっています。



三光院

24



精進料理の一例。西京味噌と桜の木の薰香をまとった
お豆腐はFAX注文も可能。



長昌寺

23



梅や桜、新緑に紫陽花、紅葉と一年を通じて楽しめます。



8~



御朱印をあつめたり、
座禅や精進料理など、
楽しみ方もいっぱい

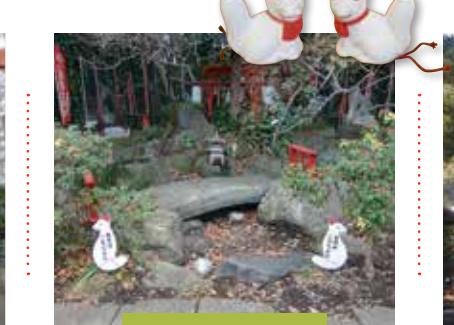
小金井神社は、元久2年（1205）に武藏野開拓にあたって菅原道真公の徳を敬い社殿を造り天満宮としたのがはじまり。緑に囲まれた社殿の奥には弓道場もあります。2020年に竣工した拝殿は、銅板葺きの屋根が輝いていますが、いずれ経年で緑青になっていくので、しばらくその変化も楽しみたいものです。

山王稻穂神社は、承応3年（1654）、新田の開発にあたって江戸麹町の山王宮（赤坂の日枝神社）を勧請して創建、明治維新後に稻垣神社と改称したといいます。6月30日には夏越の祓として、病氣や災いを免れるとされる「人形」や「茅の輪潜り」も行われています。

八重垣稻荷神社は、元禄13年（1700）に伊勢の猿田彦神社、京都の伏見稻荷大社、松江の八重垣神社を參拝し、御分靈を勧請し、邸内社として祀ったことを起源とする、氏子を持たない崇敬神社。縁結びで知られる境内には「縁樹」があり、「えんぎ」と読みます。



笠森稻荷神社



八重垣稻荷神社

21



山王稻穂神社

20

左右対のきつねおみくじなど、きつねのモチーフが境内のあちこちに。

時期で御朱印の稻穂の
デザインが変わります。

12

ノスタルジー小金井 歴史歩きマップ

緑と水に恵まれ、大昔から暮らしやすい土地であった小金井
そこでは人々の生活が連綿と営まれ、史跡も多く残されています。
昔の小金井をたずねて、歴史歩きをしてみませんか？



①浴恩館公園 (小金井市文化財センター)

昭和3年(1928)の御大典の際の建物
が移築され、財団法人日本青年館の
青年団講習所として使用されていました。
現在は小金井市文化財センターとなり、
市内から発見された資料や民具などを展示しています。



②黄金の水 (宝永四年六地蔵)

小金井村念佛講中46人によって造立された六地蔵の敷地に、小金井市中央商店街協同組合が地域活性化を目的として掘った井戸です。この井戸から湧き出る地下水は、一般の方に提供されています。

③小金井小次郎追悼碑

小金井小次郎は、小金井に生まれ、関東一円に3千人の子分をもつたとされる幕末期の侠客です。三宅島に流されていましたが、島のために井戸を掘るなどし、島民から慕われました。そうした縁で、昭和53(1978)年に三宅島と小金井市は友好都市盟約を結び、現在も小金井三宅島友好協会主催による三宅島への旅行が実施されています。

この地域の歴史は、生活に必要な水が豊富な場所から始まりました。湧水がわく国分寺崖線や野川の周辺には、旧石器時代や縄文時代の遺跡が数多く残されています。のは、江戸時代に入つてからになります。承応3年(1654)に玉川上水が完成し、その後の享保年間以降、新田の開発が盛んに行われました。玉川上水の堤防に桜が植えられ、花見の名所となつたのも江戸時代のことです。しかし、やはり小金井の中心地は崖線や野川の周辺のままでした。

それが変わったのは、明治22年(1889)に甲武鉄道(現JR中央線)が開通してからです。大正15年(1926)には武藏小金井駅が開業し、その周りに住宅や店舗が増えていくにつれ、小金井の中心地は次第に駅周辺へと移つていきました。

第二次世界大戦後、昭和20年代から徐々に増え始めた小金井の人口は、昭和30年代から40年代にかけて爆発的な増加をみせます。膨張する都心のベッドタウンとして、畑や田園はどんどん住宅へと変わっていきました。

しかし、今なお農村地帯であった頃の小金井の面影はところどころに残り、人々の努力によつて、野川の周辺の豊かな自然や玉川上水沿いの桜もその姿を留めています。

昭和の頃の 小金井の風景



上：昭和42年(1967)の前原坂上交差点を南西の角から撮影したもの。画面左上方が武藏小金井駅方面になり、右端の建物は当時の小金井郵便局です。交通整理競技会が開かれており、警察官がたくさんいるのが見えます。

下：昭和45年(1970)に撮影された、野川沿いの水田における最後の田植えの様子。野川方面から撮られているため、背景には当時の国分寺崖線の状態が見てとれます。この年を最後に小金井の水田は姿を消しました。

『地図と写真で読み解く昭和の小金井』

昭和期の小金井を、貴重な写真と当時の地図で詳しく解説した、歴史歩きのお供にぴったりな一冊です。

発行：
小金井市観光まちおこし協会
定価：2200円+税



④金井原古戦場の碑

現在の前原町南部は、中世では金井原と呼ばれていました。正平7年(1352)、宗良親王を奉じて上野(現群馬県)で兵を挙げた新田義興・義宗とそれを迎え撃った足利尊氏が、この金井原から人見原にかけての一帯で戦いを繰り広げました。

⑤小金井水田跡碑

野川沿いの低地では、長らく稻作が行われていました。しかし、住宅地が増え、一時期野川の水質が悪化したこともあり、昭和45年(1970)の収穫を最後に小金井の水田は消えてしまいました。その記憶を留めるために翌年に建てられたものです。



忙しい日常の中、楽しい気持ちになれる地域のお祭り。お気に入りのイベントを見つけよう



2020年はオンライン開催で、zoomやYouTubeチャンネルなどを駆使して情報を発信（写真は2019年の様子）。

梶野公園まつり

2011年に市内初の防災公園として整備され、その機能を広く知らせる機会として始まった梶野公園まつり。かまどベンチを使ったパン作りや、子育て世代向けの防災講座など、楽しみながら近所同士のつながりができる、災害時の訓練にもなるという画期的なお祭り。梶野公園サポーター会議など公園利用団体が中心になって実行委員会を組織し、行政と協働で開催しています。



青木紘子さん

二児の子育てをしながら防災士として活躍の場を広げている、実行委員長の青木さん。エンターテイナーの顔も持ち、防災について分かりやすく発信中。

田たちよりスポット

和風ジェラート おかげ TOKYO

農家から直接仕入れた旬の果実や野菜で作られる、卵や香料・着色料を使わない優しい風味のジェラート。塩麹やほうじ茶などの和風のもの、春はイチゴ、夏はメロンなど旬の素材で作る季節のジェラートも人気。素材の甘みを感じることができる。

1

ケニーヒ

本場ドイツで習得した伝統的な製法で作られた、約50種類の手造りハムやソーセージが、ショーケースの中にすらりと並ぶ。ホットドッグは2種類のパンと6種類のソーセージから好みの組み合わせを選べる。ティクアウトの他、2階のレストランでゆったりとくつろげる。

2

小金井市で最も古い駅である新小金井駅は、緑が多くどこか懐かしい雰囲気。出店はチョコバナナからビールまで大人も子どもも楽しめる。



新小金井 地域つながる縁日

新小金井駅前のような緑地で不定期で開催するこぢんまりとしたお祭り。運営は商店主を中心、有志で行っています。駅前とは思えないのんびりとして緑も多い環境で、お客様も主催者と一緒に楽しむ雰囲気の良さが魅力。サブタイトルは「世界と大地と未来をつなぐ」。外国人、農家さん、子どもたち…「地域にはいろいろな人がいる。みんなの個性を、遊び心でつないでいきたい」と語るのは主催者の海老原さん。



海老原康二さん

新小金井亀屋の店主。味わい深い手描きのチラシは自作。「低予算なので身の丈にあわせてやってます」。

コロナ時代のあたらしい試み

オンライン夏祭り

新型コロナにより自粛を余儀なくされた2020年の夏。オンラインイベントの先駆けとも言える早さで「オンライン夏祭り」の企画が小金井から立ち上りました。発起人は会社員で3児の父、“さいもん”こと玉置智史さん。コミュニティ作りから始まり、オンライン盆踊りなど多彩な企画に総計2000人が参加、リアルで花火も打ち上げました。「常に新しいことが生まれていく場にしたい」という「まちかど」「スペース」。新しいコミュニティの在り方にご注目！



地域の人たちがつながるきっかけになったオンライン夏祭りはzoomで開催。月1でラジオ配信中。YouTube「まちかどスペース」。

玉置智史さん



新緑がまぶしい都立武蔵野公園で開催されたはけのおいしい朝市。個性的な出店が魅力のひとつ。

遠出や旅行が難しいときも、身近に楽しいお祭りや交流できる場があれば、暮らしが豊かに感じられます。子など江戸時代から伝わる由緒正しい伝統芸能を堪能できるお祭りから、社会情勢の変化から生まれたオンライン開催の企画まで、大小さまざまなお祭りが開催されています。どんな状況になつても、人と人とのつながりを求める気持ちはいつの時代も変わりません。まずは気軽に身近なイベントに参加して、お気に入りのお祭りを見つけてみましょう。



横須賀雪枝さん

はけ市組合員。ヨシタ手工業デザイン室の器を中心に暮らしの雑貨を扱うYUZURIHA主宰。

はけのおいしい朝市

“五感においしい”をコンセプトに、飲食物から日用品まで品質にこだわった確かなセレクトで多彩な出店が魅力の市。“はけ”とも呼ばれる国分寺崖線周辺で豊かな時間を過ごしてほしいと、地元商店主が主催し2009年から月に1度開催しています（現在は不定期）。店舗や神社などを会場に、地元だけでなく遠方からも人が訪れ、交流の場になっています。

出かけてみよう!
地域のイベント



マスター木村 腹話術師 いずみ

小金井阿波踊り



武蔵小金井駅前をメイン会場に毎年7月下旬に開催。多彩な連と観衆が一緒に祭りを盛り上げる。

いずみ…観た観た！ステージの途中で迷子のお知らせが入ったのにはびっくりしたよ。

木村…迷子のお知らせは大事やから曲の途中にアドリブで挿入することもあるよ（笑）。

いずみ…会場は芝生だし、家族で樂



東小金井駅南口の日本歯科大のグラウンドを会場に、毎年8月初旬に開催される。東小金井南口商店会が主催。

まちはステージ！
観るも楽し、出るも楽し
カモンエブリバデー!!

井って、いいね！



マスター木村

大阪出身。小金井のご当地パフォーマーとして多彩に活躍中。市とのコラボソング「黄金（こがね）の日々」動画が好評配信中。本業はブルースバンド「スマートソウルコレクション」ギタリスト。

マスター木村とお祭り

伝統的なお祭りから商店街の夏祭りまで、

木村…夏はイベントがいっぱいあるけど、はずせないのはやっぱり**小金井阿波踊り**やね。

いずみ…うんうん。私、小さいときに高円寺に住んでいたから、阿波踊りには思い入れがあつて。小金井に引っ越して来て20年くらい、毎年観てるけど、すごく進化してる！踊り手も観客もレベルアップして、年々盛り上がってきえて。成長するお祭りって感じ。

木村…観る人も参加する人もみんないつしょくたになつて楽しんでる。障がい者施設の連もあつて、毎年みんなすごく楽しみにしてる。踊りの

木村…夏はイベントがいっぱいあるけど、はずせないのはやっぱり**小金井阿波踊り**やね。

木村…小金井の祭りの中でも市外から一番お客さんがたくさん来る。小金井市の名物といえば**桜まつり**、定番のはずせない祭りですね。2020年に開催していたら66回目でした（コロナ禍で中止）。都立小金井公園の桜はなんと1700本ありますからね。桜の種類は約50種類！ いずみちゃんも毎年行つてるよね。

腹話術師 いずみ（以下 いずみ）…もちろん！毎年、酔っぱらつて転んじゃうんだよね。というのは、昼くらいに行つて知り合いのシートを渡り歩いて飲んで、結局夜までいるでしょ。もう帰りは酔っぱらつて木の



都立小金井公園江戸東京たてもの園前がメイン会場。地元商店による出店や、市民による出し物のステージも。

小金井桜まつり

木村…アンタ、気いつけや～（笑）。大きなお祭りやけど地域密着で治安がいい祭りやね。出店者は基本的に小金井で店舗がある事業者だけやら、安心して酔える、楽しめるのも特長のひとつかな。

いずみ…地域密着といえば、毎年夏に都立小金井公園で開催する**小金井薪能**も市民が運営しているんだよね。



野外に設けられた特設ステージで夕暮れ時に始まる舞台は、ここでしか体験出来ない荘厳な雰囲気に包まれる。



津村禮次郎

能楽士。重要無形文化財保持者。他ジャンルとのコラボレーションを積極的に行ない、海外公演も多数。小金井市在住。

木村…そうそう。重要無形文化財「能楽」保持者の津村禮次郎さんが中心になって、狂言の野村萬斎さんや、ダンスの森山開次さんとコラボしたり、伝統芸能の枠に留まらない舞台文化ですね。40年も続いているのもすごい。

木村…舞台をまとめる津村先生、運営する市民の力は小金井が誇れる文化ですね。40年も続いているのもをつくりあげてる。

いずみ…舞台をまとめる津村先生、運営する市民の力は小金井が誇れる文化ですね。40年も続いているのもをつくりあげてる。

木村…大ベテランながら衰えを知らない津村先生の創作意欲にはおどろくばかりで、とってもリーズナブル。子連れにもお財布にも（笑）やさしい。

木村…ほかにも商店街や町会のお祭りとか、規模はいろいろでぎょうざんある。**京王通り商店会の納涼まつり**は、地元の子どもが小銭をにぎつてやつてくる初めてのお祭りやし。

木村…ほかにも商店街や町会のお祭りとか、規模はいろいろでぎょうざんある。**京王通り商店会の納涼まつり**は、地元の子どもが小銭をにぎつてやつてくる初めてのお祭りやし。

腹話術師 いずみのガイド

マスターといずみが裏話交えて案内します！

木村…イベント会場でお会いしましょう！ ね、けんちゃん!!

会いましょ!!



腹話術師 いずみ&お人形のけんちゃん

1995年より故・春風イチロー氏のもとで腹話術を学ぶ。相棒のケンちゃん（5歳）とともに、笑えてほっこりするパフォーマンスで、市内外のイベントにひっぱりだこ。

はけの手 アニメーション

地域とつながっていく 新しいアニメの可能性

小金井市には「スタジオジブリ」や「feel.」をはじめ、いくつものアニメーション制作会社があり、市内の風景などが、さまざまなアニメーション作品に登場してきました。緑豊かな風景とノスタルジックな建造物、中央線カルチャーなど、街の中には物語の題材がたくさんあります。

そんな小金井市に、さらに地域と密接な関係のクリエイター集団「はけの手アニメーション」（※通称：はけの手）が誕生しました。

「はけの手」は小金井市に住む作家で構成され、アニメーションを通じて地域をつなげることを目的としています。現在のメンバーは上甲トヨシさん、一のせ皓コさん、坂井治さん、岩井澤健治さんの4名。

2019年に開催された「第52回小金井お月見のつどい」で「ぱらぱらアニメーション」を作るワークショップをはじめて出展しました。



右から上甲トヨシさん、一のせ皓コさん、坂井治さん、岩井澤健治さん

聖地巡礼などアニメーション作品と地域のつながりが増すなか、一步進んだアニメとの関係が小金井ではじまっています。

アーティストで
まちおこし!

小金井アニメ協議会

小金井アニメ協議会では、市内のアニメ制作会社等の協力のもと、市内の店舗を巡回するクイズラリーなどの企画を行っています。

2020年10月～12月に放映されたアニメ作品『おちこぼれフルーツタルト』とのコラボでは市内の店舗に置かれたキャラク

ターパネルなどで気づいた人も多かったのではないでしょうか？ 作中に市内の風景も多数登場するほか、キャラクターは町名にちなんだ名前であるなど小金井要素がふんだんに詰まっています。

過去にも、アニメ『ヒナまつり』や『鹿鳴堂よついろ日和』とのコラボのポスター掲示や『フレームアームズ・ガール』の原画展を開催したりと、小金井市内においてアニメコンテンツを使ったまちおこしを行うための活動を続けています。

絵本でまちおこし！ 「こびとづかん×小金井市」

「こがねい わくわく コビトびより

なばたとしたか氏の絵本『こびとづかん』は、2006年に発行され、2021年には15周年を迎えます。主人公の「ぼく」が、昆虫でも植物でもない不思議な生きもの「コビト」を探す過程で、いのちの大切さや自然の多様性を学ぶ物語。続いて出版された図鑑などや映像シリーズで紹介される、緻密でリアルすぎるその生態により、子どもたちの間では「本当にいるか、いないか？」が議論になり、「こびと探し」が大流行するなど、一大ブームを巻き起こしました。今では幼稚園や保育園、小学校で読まれる定番作品となっています。

15周年を記念して、子どもたちが夢中になる「こびと探し」を小金井市内で体験できる企画がスタート。本誌「小金井市このまちガイド」に紹介したスポットにもコビトが隠れています。実はよく見ると本誌の紙面にも…！？



「こがねい わくわく コビトびより」参加店のシールを集めてづかんを完成しよう！
©TN



アニメ『ヒナまつり』『鹿鳴堂よついろ日和』と小金井桜まつりのコラボポスター



「タイニー リトル ハイドアウト
SPOONFUL」とのコラボレーションアニメ



代表の上甲さんは「アニメーションは、いわゆるTVアニメもそうですが、それだけなく多くの可能性のある表現手段です。

表現したいことに応じてデジタルだったりアナログだったり、オンライン上でみんなと一緒に制作することもできます。さまざまな手法や

表現を試しつつ、特に子どもたちに遊びながらアニメーションのおもしろさを伝えていきたいです」と考えているそうです。

また、2020年12月には丸田ストアーの「SPOONFUL」が10周年を迎えた企画として、カレンダー制作やアニメーションをサイト内に公開したり、YouTubeで「はけ」の風景を題材にしたイラストの制作過程を紹介するドキュメンタリー動画「小金井『はけ』」の魅力を描こうを公開するなど、積極的に地域のおもしろさを表現する取り組みを行っています。

コラボ企画続々！



©Takuo Eguchi

やさすめのお店
カジュアルに立ち寄れる
ワインバー「SWITCH」

スウィングラップユニット
SOFFet (ソッフェ)

YoYo

4歳でピアノを始め、15歳でSOFFetを結成。相方のGooFさんは本町小一中の同級生。19歳でバークリー音楽院へ留学。現在はYoYo the "Pianoman"名義で宮地楽器ホールなど市内でもライブを行う。2018年、小金井市観光大使に就任。三宅島友好音頭の編曲を担当。



やさすめのお店
思い出がいっぱい
小金井公園

モノマネミュージシャン
ドラマー

チャン・オータ

ギター弾き語りでX JAPANのTOSHIなどのモノマネでステージに立つほか、複数のバンドのドラマー、ドラム講師もつとめる。桜町病院で生まれ、二小一中卒業。現在は5人の子どもの子育てに奮闘中。ジャンルにこだわらず人を楽しませるエンターテイナー。



出茶屋の小屋

東小金井にある園芸店「オリーブ・ガーデン」の入口で、植物に囲まれた赤い屋根の緑色の小屋が目印。炭火と鉄瓶で沸かすお湯と、自家焙煎の豆で丁寧に淹れられる珈琲は、至福の一一杯。ホットサンドのほか、季節に合わせたケーキなど、種類豊富な焼き菓子も日替わりで楽しめる。



4
すうぷ屋 でみCafe
野菜を中心としたスープやカレーなどのプレートランチ、豆腐屋さんのおからで作るふんわりとしたドーナツなどが楽しめるカフェ。キッズコーナーもあるので、子ども連れでもゆっくりと時間を過ごすことができる。ライブやアート作品の展示など、イベントの開催も行っている。

お気に入りスポット
四季折々の自然が魅力
滌浪泉園

子どもたちに
文化を届けたい

クラシックからラップまで地域でつながる 小金井ゆかりのアーティスト

たくさんの演奏家を生んでいる小金井市。ここではごく一部の方をご紹介します

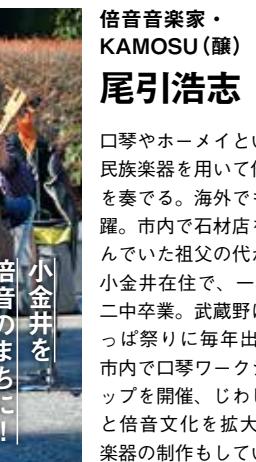
東京フィルハーモニー交響楽団 オーボエ奏者

杉本真木

緑中にあったオーケストラ（現在の弦楽部）2年生の時に教育実習に来た指揮者の茂木大輔氏に多大な影響を受け、オーボエ奏者の道へ。小6のとき作詞した緑小音頭は、今も児童に受け継がれている。こがねいガラオーケストラや、ムジカこがねいでも活躍中。



やさすめのお店
炭火焼鳥が美味しい「ちょくくら」



倍音音楽家・
KAMOSU(謫)
尾引浩志

口琴やホーメイという民族楽器を用いて倍音を奏でる。海外でも活躍。市内で石材店を営んでいた祖父の代から小金井在住で、一小・二中卒業。武蔵野はらっぱ祭りに毎年出演。市内で口琴ワークショップを開催、じわじわと倍音文化を拡大中。楽器の制作もしている。

田 たちよりスポット

多様性を受け入れる街にはさま
ざまな生活、さまざまな仕事が
成り立ちます

働き方は「生き方」の力タチ

働き方は今や「生き方」のひとつのかたち。生活の場では人々は「働く人々」でもあります。だから、「人」として交流しながら街とともに成長していくのです。

「どんな仕事でも、働いていると新しい出会いがある。だから仕事はずつと続けていきたい」とSofarの鈴木飛鳥さんは微笑みます。

Sofarは2020年11月、東小金井駅から徒歩2分の東小金井南口商店街にオープンした、日用品とお菓子の店。バナナケーキにはマスコバド糖、キャラロットケーキには洗双糖と、数種の砂糖を使い分け、しつとりと味わい深いケーキに仕上げています。

「一人暮らしの時、近所のカフェを通して知り合いが増え、街の人と関係を築けたんです。私もそういう店を目指しています」



1. 今日のお客さまは Coffee with 4 Elements の中野さん 2. ドライフルーツをたっぷり入れた「エイトケーキ」。パルメザンチーズ入りの濃厚な生地と酸味のあるドライあんずとの相性抜群 3. すりおろしニンジンがたっぷり入った、やさしい味わいの「キャラロットケーキ」。クリームチーズのアクセントが美味。

それが「ここが自分の居場所」と感じる、温かい雰囲気の丸田ストア

丸田ストアー

2



Coffee with 4 Elements [MA-TO 内]

3



1秒間にどれぐらいの湯量が落ちるか、計量計で測りながらハンドドリップしている



今日のお客さまはSofarの鈴木さん



それが「ここが自分の居場所」と感じる、温かい雰囲気の丸田ストア

中野さんは、ネイルサロンも経営し、Coffee with 4 Elements というより、味覚の追求で研究に近い」と言います。

その「研究」ぶりは徹底的。温度、時間、高さ、描く円の大きさ、すべてをデータ化。そのデータを基に正確に淹れたコーヒーは透き通った味わいで、Sofarの鈴木さんも「中

野さんが入れるコーヒーは全く別物。フルーティで大好き」と絶賛。常連客が足しげく通う店となり、経営もしっかりと黒字となっています。

野さんが入れるコーヒーは全く別物。フルーティで大好き」と絶賛。常連客が足しげく通う店となり、経営もしっかりと黒字となっています。

出茶屋」、とれたて野菜を販売する「PARATAILY」、街をキーワードに活動するアトリエ「とが」(P37参照)。どの店も個性的で、ストア内では自立と協調がほどよく成立しています。

「働くことも生活も、つながっているなと思うんです。ここで働くことで育まれた思いかも。ここで挨拶を交わし、日々いたくものがたくさんあります。それをまた少しでも受け渡すことができたらうれしい」と、みんなのまとめ役、SPOONFULの眞嶋麻衣さんは言います。

働き方は違つても、想いを形にすら土壤があるのです。

小金井から 全国・世界を目指す

を進むようなライブ感があります」とCR人事・広報担当の高野友理香さんは快活に笑います。

組織のない会社で キヤリアをサポートしたい



農工大・多摩小金井ベンチャーポート チーフインキュベーションマネージャーの山本大介さんとコネクテッドロボティクスの高野友理香さん

コネクテッドロボティクス [農工大・多摩小金井ベンチャーポート内]

小金井ライフでは思ぬところで最先端技術と出会えます。例えば、東小金井駅改札内の「そばいち」。茹でる、洗う、締めるの工程をすべてロボットで自動に行っています。この「そば茹でロボット」を開発したのが「コネクテッドロボティクス(以下CR)」。ロボットの頭脳・ソフトウェアを開発し、「調理をロボットで革新する」ことを目指しています。

小金井市にはベンチャーエンタープライズ貸貸と専門家の支援の両面でサポートする施設「農工大・多摩小金井ベンチャーポート」があり、CRをバックアップしているのです。CRはその支援を受け、農工大の水内研究室とともに共同研究を進めています。「外国籍スタッフも多く、今は仲間と『試行錯誤』の日々。ジャングルの中

自転車通勤の永島さん。出社の楽しみは社員食堂でもある「はだめし」の発酵玄米のデリプレート

LIGUNA [あきゅらいす]



2003年、テレビ通販で一躍成長企業となったスキンケア通販ブランドの「あきゅらいす」。2019年に社名を「LIGUNA」に変更し、東小金井駅近くに新社屋を完成させました。「一緒に成長できると思い、小金井を選びました」と南沢社長。肌にもからだにも優しい料理を提供する「はだめし」(P.36参照)をオープンして地元の方々とマルシェを行ななされました。

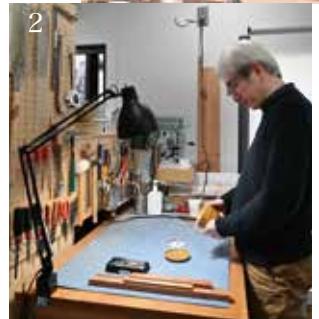
社屋の一部をコワーキングスペース化するプロジェクトにも携わっています



テレワークになったことで南沢社長との距離もかえって近くなりました
スキンケア商品



ヨシタ手工業デザイン室



1.事務所を武蔵小金井駅北口から徒歩5分の場所に移転し、ショップも併設しています

2.「手で考える」ことを大切にし、社名にも手工業と加えています

『暮らし』が仕事、仕事が『暮らし』と丁寧な商品作りでブランドを育てていく楽しみ

ど、地域に開かれた企業です。LIGUNAは2020年、仕事を管理する部署とマネージャー職を廃止し、すべての仕事をプロジェクト化。永島さんはその人事制度の構築に携わってきました。「人事制度を補うため、自分で『キャリア形成支援プロジェクト』を立ち上げました。家族との関係を含め、GUNAは組織をなくすことで、自ら行動する人材を育成しています。

吉田さんは「言葉が好き」と語るのはヨシタ手工业デザイン室の吉田守孝さん。柳宗理デザイン事務所から独立し、住まいのある小金井市で2011年に開業しました。主にキッチン周りの家庭用品のデザインを手がけ、ステンレス・ラウンドバー・シリーズのピーラー、2020年度のグッドデザイン賞を受賞したリサイクル材料を使用した食器「トリップウエア」など10年で少しづつデザインを手がけた製品が増えてきました。

「オリジナルでも少量生産で無理せず」と吉田さん。最近は海外からの注文も増え、少量から中量生産に行なっている商品も出てきました。

「ひとつひとつを丁寧に作っていくことで世界観のあるブランドを作ることができると感じています」



農工大・多摩小金井
ベンチャーポート

中小企業基盤整備機構が全国で展開する創業・ベンチャー支援施設のひとつで、東京では唯一。「大学連携型起業家育成施設」として東京農工大学と連携。入居すると事業化支援が受けられます。

インキュベーション施設



MA-TO

自分のオリジナル商品を作り、販売することができるシェア施設。店舗・シェアキッチン・教室・工房等の6つの区画があります。自分のお店や仕事場を構みたい起業家などが集まっています。



PO-TO

路面に面したガラス張りのスペースで、店舗・事務所・ショールームなどとして利用できる新しいタイプのシェアオフィス。利用者同士のコラボレーションを生みやすく、創業者、小商いに人気の施設です。



KO-TO

東小金井駅近くの高架下にある、小金井市が設置した公共の創業支援施設。24時間利用できる個室・ブースのほか、1日のみの利用もできるコワーキングスペースがあります。



お互いに教えたり、教わったり…。
みんなが学び合える土壌があるのは、「文化の香り高い町」の証。

おもしろ深い 文化イベント もりだくさん

子どもも大人も、興味のあるコトをとことん知りたいし、じっくり学んでみたい——。実は、そんな知的好奇心を刺激するイベントや学習機会は、想像以上に多くあるんです！



YA世代のカルタ大会。みんな真剣な眼差しで白熱!

きたまちセンター1階にある図書館は、「とにかく居心地がいい」と注目が集まっている人気スポット。それもそのはず、他の図書館に比べて開館時間が長く、休館日も少ないし、充実した案内やプロも絶賛する室内の飾りが目を和ませてくれます。また、座つて本を眺められるスペースも充実しています。

「住民の皆さんのがよくて、居心地がいいのは当たり前。そのう

が長く、休館日も少ないし、充実した案内やプロも絶賛する室内の飾りが目を和ませてくれます。また、座つて本を眺められるスペースも充実しています。

他の図書館に比べて開館時間が長く、休館日も少ないし、充実した案内やプロも絶賛する室内の飾りが目を和ませてくれます。また、座つて本を眺められるスペースも充実しています。

Y.A.世代は、読書離れになりやすい時期。少しでも本や文字に親しんでほしいと、ビブリオバトル（書評ゲーム）やカルタ大会、製本体験などを開催しています。

世界各国の名著を読み込む課題型読書会。「香り」「スポーツ」など毎回テーマを設ける紹介型読書会、会話を楽しむ対話型読書会、「図書館で恋が生まれる」と題した合コン型イベント…。思いがけない出会い

と、きたまちセンターの図書館分室長の田中肇さん。初めて絵本に出会う幼児から興味の範囲が広がる小学生や自分と向き合うY.A.世代（ヤング・アダルト、思春期の中・高校生）、そしてさまざまな交流の中で学びの気持ちが刺激される大人まで、さまざまなイベントや学習会などを仕掛けています。

Y.A.世代は、読書離れになりやすい時期。少しでも本や文字に親しんでほしいと、ビブリオバトル（書評ゲーム）やカルタ大会、製本体験などを開催しています。



きたまち
センター図書館



福袋のように中身は内緒。
どんな本と出合うのかドキドキ!



イベント「図書館で恋が生まれる」は本好きの男女に好評。

を創出するために、田中さんは次々と斬新なアイデアを出し、実行していきます。

「古い雑誌を利用して、そのときの気分で写真やイラストなどを自由に切り貼りするコラージュ講座も人気です。それまで気が付いていなかつた自分に出会えるからかもしれないね」

美しい海や山の写真ばかりに目がいくのは、仕事に追われるうちに、心の底では旅がしたいと願っているから? 料理の記事が気になるのは、自分が生まれることは、人生をより豊かにしたり、新たな一步へとつながる指針になつたりするかも知れません。「人々と意見や感想を交わすのは、

「社会的な事件や関心事（出来事）、哲学などについて語り合う機会も重い——。図書館内の案内、市報、掲示板などには、そんな根柢的な喜びにつながる情報が発信されています。

一緒に考え、語りませんか」

どんな世代も、新しいことを知ること、学ぶことは、楽

しい——。図書館内の案内、市報、掲示板などには、そん



定番人気の「学び」スポット

はけの森美術館



1 はけの森に春を奏でる吉野直子ハープコンサート2019。



2 森の中へ誘われるような静かなたたずまい。

画家・中村研一のコレクションを所蔵する美術館。展示だけでなく、教育プログラムも充実しているのが魅力。子ども向けの講座はもちろん、大人向けの体験ワークショップなども充実しています。市民の芸術文化活動の拠り所であり、市民参加・参画型の美術館として親しまれています。

江戸東京たてもの園



1 「夜間特別開園 たてもの園 下町夕涼み」の様子
2 ビジターセンター

江戸時代から昭和までの建物が立ち並ぶユニークな博物館。現地保存が不可能な文化的価値の高い建造物を移築し、復元・保護しています。お正月の催しや夕涼みなど、昔の情景を再現したイベントでは、当時の雰囲気が味わえると子ども連れに人気です。



福袋のように中身は内緒。
どんな本と出合うのかドキドキ!



農園内では
さまざまな体験
活動が行われて
います。

東京学芸大学内にある、環境教育研究センター教材植物園。通称「農園」として、地域の人々、近隣学校・施設の人々に開放されています。しかも、国立大学の教育施設はあまり広く開放されていない中、ここは自由に農園内を散策することが可能。都内では珍しい水田の様子や畑の作物の成長を眺めたり、昆虫を観察したりして楽しめます。四季折々の樹木や草花はもちろん、温室のバナナやハイビスカスもぜひ観察を。



東京学芸大学
環境教育研究センター
教材植物園

自分の住む地域の
歴史や暮らし方への
興味を満たしてくれる資料館

教育者・下村湖人が若者と語らい、小説「次郎物語」の構想を練った浴恩館を改修し、博物館施設とした文化財センター。現在は、市内から発見された考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。縄文土器（原始コーナー）から、板碑（中世）、玉川上水実測図（近代）、下村湖人に関する資料（現代）まで、じっくりと地元の歴史を学べる「学びスポット」なのです。あまり古い歴史に興味はない人も、武蔵小金井駅周辺の昔の写真（昭和）と現在の様子を比べて、「へ～、こんなふうに変わったんだ」と時代の流れを感じるもの、きっとおもしろいはず。講座やワークショップでは、小金井市の歴史を学ぶ講座の他、現存する機織りを利用した「はたおり教室」も人気です。



きすう

©TN



1. 展示テーマは、時代別のコーナーから、暮らしと仕事、浴恩館と湖人などさまざま。
2. 夏休み開催のはたおり教室の様子（小学4年生～中学生対象）



1. 一年を通して田んぼの様子を見れば、米作りが身近に感じられるはず。
2. 大学内の北西部に位置する農園（畑）は、四季を通じて散策したいスポット。

小金井市文化財センター

8

行ってみよう！やってみよう！ おもしろ 体験ガイド

さまざまな施設で開催されている講座やワークショップ。子どもと一緒に楽しめるイベントあり、大人の教養を深めるクラスあり、その「すそ野の広さ」は小金井の自慢の一つ。さあ、好奇心の赴くままに参加しましょう！



昔ながらの
知恵や工夫で
エコな暮らしを考える

小金井市環境楽習館

4



1. 手仕事の魅力を体験できる講座がいっぱい
2. 独特の色と風合いが魅力の柿渋染め講座



2

もともと繊維に特化した博物館としてスタートした東京農工大学科学博物館。現在は、学内の農学・工学の研究成果を発信する基地として、研究・教育活動に重点をおいた大学博物館施設として、常設展やさまざまな科学イベントを開催しています。遊びながら学ぶスタイルの小学生だけでなく、中学生や高校生向けのより本格的な講座の充実ぶりも、子育て世代にはうれしいところです。



テーマは「酸化と還元」。果たして実験結果は？!

東京農工大学科学博物館

5

幅広いジャンル
のイベント開催、
サークル活動など
の「交流の場」

武蔵小金井駅の南口前にある「小金井 宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）」。豊かな響きを持つ578席の大ホールと平土間式の小ホールは、それぞれ幅広いジャンルの催し物に利用されています。市民ギャラリー、練習室、和室なども備わっており、まさに市民の大切な文化活動の拠点。通勤・通学、買い物の際にも気軽に立ち寄れるスポットの一つです。

小金井 宮地楽器ホール〔小金井市民交流センター〕

6



展示イベントが開催されるマルチパーザス。
大・小ホールでは音楽、落語、能楽などイベントは多彩。



誰もが誰かのためにできることをする。それが当たり前なことがこの町の力です。

みんなで助け合うと 町はもつとおもしろい

—予想外のマッチングから生まれるモノとは?

「みんなが求めている商店街の役割って何だろう」。商店街の活動に行き詰りを感じていたけやき通り商店会長で「あいたい屋」主人の益田智史さん。その答えを見つけようと、けやき通り周辺の皆さんへアンケートを行ったところ、意外にも「居場所づくり」や「見守り」などに大きな関心があることがわかりました。そのことを小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター所長の山極愛郎さんに相談したところ、二人の話が盛り上がり「みんなの安心・ささえ愛ネットワーク」（みん愛ネット）を始めることになつたそうです。

そこで2017年から月1回、保育園長、カフェ店主、福祉関係の方々などにも参加してもらって、それぞれが日頃思っていることを伝え合っています。

「みんなが求めている商店街の役割って何だろう」。商店街の活動に行き詰りを感じていたけやき通り商店会長で「あいたい屋」主人の益田智史さん。その答えを見つけようと、けやき通り周辺の皆さんへアンケートを行つたところ、意外にも「居場所づくり」や「見守り」などに大きな関心があることがわかりました。そのことを小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター所長の山極愛郎さんに相談したところ、二人の話が盛り上がり「みんなの安心・ささえ愛ネットワーク」（みん愛ネット）を始めることになつたそうです。



益田さん（左）と山極さん（右）。この2人のつながりがなければ、「みん愛ネット」は始まらなかった。

合っています。山極さんは、「福祉業の自分たちとは対極にいると思つてた商店会の人たちとマッチングすることでお、いろんな課題が解決しました。

例えば、在宅サービスセンターで思うようにいかない高齢者の農業体験の実情をみん愛ネットで話すと、たちがお芋ほりに訪れている広い生産緑地。大久保園の大久保勝盛さん曰く、「空

いた畑で子どもたちのお芋ほり企画をしたら好評で、それ以来続いている。収益よりもそこは子どもの笑顔優先で（笑）。畑が子どもたちの遊び場や地域の拠点になるような、交流できる場所になつていつたらしいなと思っています」

在宅サービスセンターでも大久保園での援農が始まつて、地域の高齢者や子どもが豊かな体験のできる場所になつていきました。この活動は、都市農地の活用を地域で考えていく大きなかかけにもなつたようです。

また、みん愛ネットでは見守りあえる町づくりのために開発された「けやき通り de かくれんぼ」も開催。これは商店街内で行方不明者が



大久保勝盛さん
大久保園での芋ほり体験（右）



大久保園

一人ひとりに 寄り添う居場所

役の人をアプリの情報を頼りに搜索・発見するというゲーム形式のイベント。その先には地域で困っている人を誰でも助けようといふねらいがあります。このイベントで商店会は「第14回東京商店街グランプリ」で優秀賞を受賞。他の地域でも同様のイベントが行われるなど普及への道が進んでいます。

「同業者だけの枠を取り払い、ご近所みんなで一つの輪を囲んで話をすると新しい答えが見つかる。福祉、商業など元々は違う分野にいた人たちがタッグを組むことで、大きなつながりの糸が織られ、地域の基盤が強くなつていく。これがみん愛ネットの良さです」。誰でも参加できるみん愛ネット。参加したい方はあいたい屋までご連絡を！

meray (旧irutoco.)
ミレイ イルトコ
陽の当たる部屋で自習する利用者さんと代表の永末さん。設立（2021年2月にmerayを



「クラフト」と呼ばれるヘアアクセサリー。市内のイベントで不定期に販売している。

安心できるあたたかな場所で、自分らしい働き方を見つけてほしい。心身を整えて、次のステップへ進むための場所が地域の中にあることは、とても大切なこと。ここから健やかに社会復帰ができるようになります。

「安心できるあたたかな場所で、自分らしい働き方を見つけてほしい。心身を整えて、次のステップへ進むための場所が地域の中にあることは、とても大切なこと。ここから健やかに社会復帰ができるようになります。

公園でも、ラジオでも

「お母さん」とつながるサロン

Hütt eのキャッチコピーは「お母さんスイッチオフ」。ここは24時間ノンストップの

「お母さんスイッチオフ」。ここは24時間ノンストップの

過ごす中で、石井さんは何をするかというと、「何もない」のです。

そしてお母さんたちが和やかに過ごす中で、石井さんは何をするかというと、「何もない」のです。

代表の石井優子さんの語るHütt eは「目的のないサロン」。イベントは企画せず、木陰で本を読む、出会った人と語らい、それを横で聞くだけでもいい——主体的に過ごす大人の時間があります。持ち物も自由、参加費は無料で、いつ来てもいつ帰つてもOK。

そしてお母さんたちが和やかに過ごす中で、石井さんは何をするかというと、「何もない」のです。

自分の話はせず、ただそこに居て、来た人たちをゆるやかにつなげてくれます。利用者の女性の「優子さんは、癒し」という一言は特に心に残りました。石井さんのまわりにできるふんわりと自由な雰囲気の中でこそ、お母さんたちの心は柔らかくなつて、本来の自分に戻り、本当にほしい「人とのつながり」が作れるのでしょう。

元々室内サロンだったHütt eは2020年に都立小金井公園内で「Hütt eosoto」として活動、また外出できないお母さんたちのためにインターネットラジオ「Hütt esuru」も配信しています。たまにはスイッチオフをしに、あなたもHütt eに来てみませんか？

お母さん業から、一人の女性に戻る時間を過ごすための大人のサロンです。「以前に住んでいた町のあるサロンで、子どもは自由に遊び、大人はコーヒーを飲んでゆつたり過ごしていく、一人の大人としての時間や空間があつたんです。こういうのいいなあと。その思いがHütt eの根底にはあるのかなと思います」



1. 小金井公園で語らうひととき。初対面でもみんなほがらかで楽しそう！毎週金曜日に開催。
2. 代表の石井優子さん。ご自身も2児の母。

誰もが安心して暮らせる地域へ

小金井に住み始めると「小金井はいい人が多いから暮らしやすいよ」という言葉をよく耳にします。それは新しい住人でも地域の活動にスッと入れてくれる、懐の深さがあるか

小金井では地域で活動している団体がたくさんありますが、「浴恩館日和」は地域の有志が中心になり、緑町の浴恩館公園内にある野外調理場で多世代交流を開催しています。四季折々の豊かな自然のなかで、子どもからお年寄りまで一緒に釜戸の火を囲むことは、「見えないけれど大切なこと」をみんなで共有する大切なひとときです。

「誰かの役にたつことで、自分も充電できるの」と話してくれたのは、高齢者のデイホームと保育園、そして地域の寄り合い所を全て一つの建物で行つている「地域の寄り合い所」で、満たされていく。家族ではないけれど、近くの誰かと関わることで、パワーを充電できる。この多いおばあちゃんが赤ちゃんとのお世話をすることで、満たされていく。



浴恩館日和

浴恩館日和のひとこま。多世代交流の場として活発に活動している。毎月第2水曜日に開催。

6

地域の寄り合い所 また明日



おばあちゃんが抱っこすると寝てしまった2歳のお子さん。

代表の森田真希さん、和道さん夫妻。

5

たち寄り処 森のこみち



縁側のある日本家屋からはいつも笑い声が。毎月第4木曜日に開催。

しみにしている限り暮らしのお年寄りがたくさんいるそうです。

今回紹介したのはほんの一部ですが、取材先ではどこでも何気ない優しさを感じました。肩の力が抜けしていく、個人を尊重してくれる距離感がとてもよいのです。無理をしない良さ、と言えばよいでしょう。

か。少しの気遣いや挨拶。一人ひとりのちょっとした優しさが、誰もが暮らすやすい地域を作っていくのでしょうか。

月に一度の住み開きを樂り処「森のこみち」でも、

田たちよりスポット

ROCK'N KITCHEN あいたい屋



けやき通り商店会長益田さんのお肉レストラン。何といってもジューシーなお肉がおすすめ。テイクアウトもしている「あいたい屋ステーキ丼」はボリュームたっぷり！エヌルギッシュな益田さんからも元気をもらいます！



Cafeりあん (1F) フラワー工房さくら (2F)

貴井南町のフラワー工房さくらでは焼き菓子を中心に製造販売をしています。1階のカフェは地域のサロンとして多くの人が訪れ、障がいのある方が個性を生かして働く場となっています。

START



子どもも大人も工作を楽しみ
地域で盛り上がろう！

毎年夏休みに開催されている小学生6年生以下を対象とした木工コンテスト「夏休み木工チャレンジ」。木材パーツのキットを使って、自由な発想でオリジナルの作品を作つてもらい、優秀作品は表彰式イベントで展示される。

トで表彰・記念品を贈るというイベントです。夏休みの自由研究や親子で取り組む工作としても好評です。「子どもたちは、自然素材である木の感触を味わってほしいと思います。また、想像力でモノを作り出す楽しさもぜひ体験してほしいですね」と実行委員メンバーの飯田博之さん（株式会社タカキホーム）。実際、

「地域に暮らす子ども大人も、みんなが楽しい時間と空間を共有できるつながりを広げたいと願っています」

にしまきごはん

最近、暴飲暴食が気になる、子どもにもっと野菜を食べ慣れてほしい…、そんなときはココ！ 野菜をふんだんに使った体が喜ぶ「ベジごはん」をどうぞ。「自分で食べて美味しいと思う安心安全な食材を使い、素材を生かしたベジごはんやベジおやつを作っています」と店主の西真紀さん。



集中的に狙われて、
お父さんは苦戦中！



小さい子のお世話が自然にでき
るのも成長の印。

「地域のおっちゃん」として
子どもたちを見守りたい
地域の子どもたちには、心豊かに
すくすく育ってほしい——小金井では、子どもたちの成長を温かく見
守る活動があちこちで行われています。

お父さんたちが中心となつて活動
している「小金井第三小学校 おや
じの会」もその一つ。水鉄砲遊びや

「逃走中」と題した鬼ごっこなど、子どもたちが楽しく遊べるイベントを開催しています。子ども時代から、地域のおっちゃん、おばちゃんなど、いろいろな人とも関わって、育っていくものでしょう？

子どもは学校と習い事だけでは、学校の友達だけでなく、地域の人々と一緒に、地域の人のとの連携の大切さを感じたことから、地域の人々や卒業生も気軽に参加できるように活動を始めた立つと思います」

「イベントの準備などは、我々と、先輩メンバーの一人である小林浩さん。子どもの小学校でPTA会長をしていたときに、地域の人との連携の大切さを感じたことから、地域の人々や卒業生も気軽に参加できるように活動を始めたそうです。

「イベントの準備などは、我々『昔のお父さん』の有志に任せて、若いお父さんたちは、ぜひお子さんと一緒に遊びに来てください」地域の子どもたちと一緒に遊びながら、その成長を見守れるのが楽しいという小林さん。今後も、子育て・

家族と仕事以外の知り合いが増えると楽しい！
地域デビューのきっかけとしてもおすすめです。



いっぱい遊んで

大きくなあれ

「逃走中」と題した鬼ごっこなど、子どもたちが楽しく遊べるイベントを開催しています。

子どもは学校と習い事だけではなく、地域のおっちゃん、おばちゃんなど、いろいろな人とも関わって、育していくものでしょう？

子ども時代から、地域の人々と一緒に、地域の人のとの連携の大切さを感じたことから、地域の人々や卒業生も気軽に参加できるように活動を始めた立つと思います」

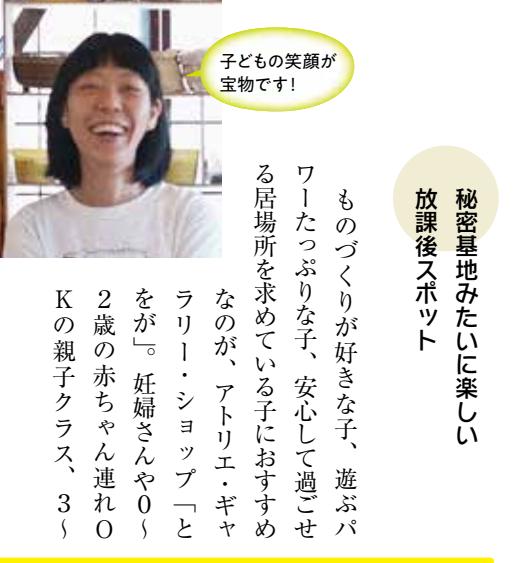
「イベントの準備などは、我々と、先輩メンバーの一人である小林浩さん。子どもの小学校でPTA会長をしていたときに、地域の人との連携の大切さを感じたことから、地域の人々や卒業生も気軽に参加できるように活動を始めた立つと思います」

「イベントの準備などは、我々と、先輩メンバーの一人である小林浩さん。子どもの小学校でPTA会長をしていたときに、地域の人との連携の大切さを感じたことから、地域の人々や卒業生も気軽に参加できるように活動を始めた立つと思います」



とことん遊ぶ!

それは子どもにとつて
生きることと同じこと



秘密基地みたいに楽しい放課後スポット

ものづくりが好きな子、遊ぶパワーハーたちが、安心して過ごせる居場所を求めている子におすすめなのが、アトリエ・ギャラリー・ショップ「とが」。妊婦さんや0～2歳の赤ちゃん連れOKの親子クラス、3～

1. 「電車をつくろう!」という声に、仲間が参加。
2. 親も子も描くことに夢中。

決して子どもを急かせないし、課題

の押しつけもなし。

だから、電車づくりに夢中になる子もいれば、お絵描きを楽しむ子もいて、みんな自由です。ここには、「子どもが子どもでいる時間」が流れているのです。

「縁日を開いて地域



料理が子どもの力をのばす！

の人と交流したり、周りの農家さんの畑へ繰り出したり、自分の住む町との関わりも、大きな学びになります

「アトリエは、表現と実験の部屋です。自分のペースで、やりたいことをやりたいようにやってみる、そんな場所と時間を大切にしたいのです」

子ども自身の気づきや発見、「やりたい」という気持ちが大切だから、決して子どもを急かせないし、課題



もぐもぐ子ども調理室

習った料理をおうちで再現する子も多い。

のほか、「子ども調理室」では子ども自身が調理

ます。離乳食の作り方、幼児食の好き嫌い、成長期の栄養バランス…。子どもの食に関する悩みは多いもの。そんなお悩み解決の助けになるのが「もぐもぐキッチンスタジオ」です。離乳食や幼児食に関する栄養士のアドバイスが受けられる「子どもアドバイス」



キュクロブスケッチ

本町の住宅街にあるキュクロブスケッチは地域の誰もが気軽に立ち寄れるカフェ。昔ながらの縁側のある和室ではデッサン教室やネイティブ講師の英会話教室なども開催。「やりたい人がやりたいことができるような場の提供をしたい」とご主人の平林さん。定期的に出茶屋も出店！

とことん遊ぶ体験は、子どもにとって食べることや眠ることと同じくらい大切なこと…。そんな思いから、「NPO法人こがねい子ども遊パーク」は、子どもたちが安心して遊び、安心して居られる場所を作るために活動しています。その活動の一つとして開催された

「子ども実行委員を募集し、半年前から準備します。「子どものまち」という遊びを通して、子ども達は生き生きと役割と責任を果たします。

子どもの「やつてみたい」を大人が支えるところは、当法人の主事業であるプレー・パークを通じています」と団体代表の邦永洋子さん。理

事の松下直子さんも、子どもがやりたいと思ったことを支援したいと考えています。

「自然の中で遊ぶプレー・パークといつた、子どもが自由に動いて楽しめる場が大切だと思います」



田たちよりスポット

はだめし

肌によい飯=からだによい飯をコンセプトに、薬膳の知識を盛り込んだカフェ。「酵素玄米と日替わりデリ」は、新鮮な野菜を使ったサラダや煮物が7種付いて健康的、多彩なスパイシースイーツをフレンドして作るカレーもおすすめ。子連れでも気兼ねなく利用できるピクニックルームを併設し、テイクアウトもOK。





地元野菜、食べていますか?
心と体にやさしく調和する口福を
知らないなんてもったいない。

ご近所野菜は 新鮮・安心・おいしい



「おしきろ大根」は大きく甘い。おろしも煮物も◎。

みずみずしい
カリフラワーは
湯がいて食べても、
ピクルスにしてもOK。



みんな、遊びにおいて!
煙を地域の交流スポットに

の持つ自然の力を心身に取り込める
から。

地元で収穫される野菜が元気なら、そこに暮らす人も絶対、元気! なぜなら、人と同じ空気を吸い、同じ水で育った野菜を食べれば、地域

そんな健やかな暮らしを楽しめる地域です。何しろ、ずっと農地を守ってきたベテラン世代はもちろん、代替わりした若手農家も元気いっぱい

「都市農業は、消費者が畑に近いのが魅力。『それたてだから、新鮮でおいしい』『生産者の顔が見える野菜だから安心して食べられる』と

言つてもらえるのが、うれしいです。

農協(小金井

小売りもしていますから、
煙で作業しているときなどに
気軽に声をかけてください」

実は、防災拠点という役割を担つ
ている畑。地震などの災害が起つ
たとき、子どもも大人も、安全な
スペース、食べ物や水などを求めて

ます」

地元野菜を通じた食と健康につい
ての学び。子どもたちは、おいしい
給食を通して、食べることの大しさ、
豊かさ、楽しさを学びます。

集う貴重な「逃げ場」なのです。
「私たちもいつも畑にいます。だから、子どもたちが助けを必要とするときにも、すぐに対応できます。だからこそ、日頃からお互いに顔見知りになっておくことが大切だと思います」

と萩原さん。畑は、ご近所野菜が育つ場所。心と目を和ませてくれる緑地であり、地域の人々が集う場所。まずは近くの畑に出かけてみることが、小金井の暮らしをより豊かにしてくれる第一歩です。



トラックに乗せた、丸々とした白菜は自慢の品。



食べ頃のブロッコリーを選んで
もくもくと収穫中。

で、特に気をつけています」

畑の土を整える作業から始まり、種まき(植え付け)、肥料やり、収穫出荷…。大澤さんが小柄な体ですべてを精力的にこなすのも、子どもたちの笑顔が見たいから。「子どもたちにはいっぱい野菜を食べて、健康に過ごしてほしいです」

地元野菜を通じた食と健康についての学び。子どもたちは、おいしい給食を通して、食べることの大しさ、豊かさ、楽しさを学びます。

みんなに健康でいてほしい
地元野菜を給食で味わって



りに畑があり、いざというときも食べ物があるという安心感は何にも代えがたいものです。

代々受け継がれてきた農家に生まれた大澤桜さん。何と17代目! 家業を継ごうと決心したのは、東日本大震災がきっかけだったそうです。当時15歳。流通が滞るなど社会が混乱する中、「とりあえず食べるものがあれば、畑があれば生きていける」と感じたとか。確かに、東京に暮らす私たちにとって、身の回

水洗いや袋詰めなどをする作業所

漬物にも、鍋にも
おすすめです♪
ぜひ味わって!

「市内の小中学校14校の給食用に、

直接買いに来るお馴染みさんも多いとか。

「うちの野菜を届けています。給食

用の野菜は、少しでも虫多いがある」とダメなのがあります。

トヨーカ堂武蔵小金井店、市内のいなげや3店舗の他、P A R I T A L Y やベジハウスなどの宅配業者を通じても購入可能。自家の敷地内にある

漬物にも、鍋にも
おすすめです♪
ぜひ味わって!



四季折々の花に癒される そんな暮らしはいかが?



花を飾るだけで、暮らしの空間が少しゆとりを帯びる。そんな小さな幸せをかなえようと奮闘しているのが、園芸農家の大久保憲一さん。小金井市で唯一ボインセチアを栽培し、出荷しています。

「うちでは5~6種類のボインセチアを出荷しています。ピンクや白もありますが、定番で赤のプリメーロレッドが1鉢から小売りもOKで、ホームセンターなどよりも割安で購入できること、知る人ぞ知るおすすめスポットです。

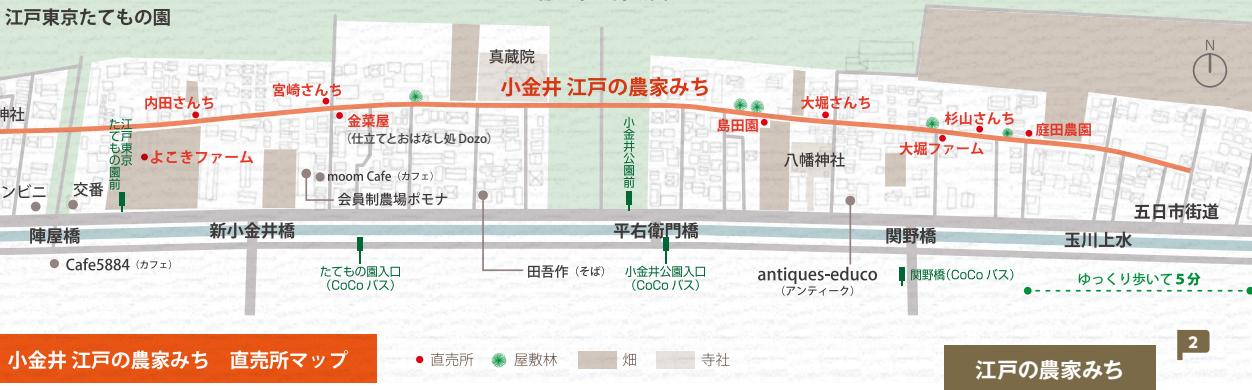
「7月上旬から、剪定をした

クや白もありますが、定番で赤のプリメーロレッドが1鉢から小売りもOKで、ホームセンターなどよりも割安で購入できること、知る人ぞ知るおすすめスポットです。

パンジーは1ポット100円で販売。黄色、オレンジ、紫などが揃う。



り光の当て方を工夫したりして大切に育てています。おうちでは、枯れ葉をこまめに取り除くといいでよ」と大久保さん。実際、近所の方から「キレイに長持ちしているよ」と言われるほどになります。おうち時間が見直されている昨今、ぜひ庭や窓辺のプランターで植物を育てたり飾ったりしたいもの。心のゆとりに、ぜひどうぞ。



季節や時間帯によっては、直売所の野菜が少ないこともありますのでご了承ください。MAPは直売所のフォルダや「仕立てとおはなし處 Dozo」さんなどで手に入れます。

興味をそそられる「小金井江戸の農家みち」という名前。小金井公園と五日市街道に挟まれた小路沿いに、昔ながらの農家屋敷の名残りの蔵や屋敷林が点在し、農家の野菜直売所が並んでいることから名づけられました。実際、お散歩がてら、ぶらぶら歩けば、ここにもあそこにも小さな野菜スタンドを発見! 四季それぞれの旬の野菜や切り花や苗、小金井特産のはちみつ、ジャムなどを出合えます。

Facebookページを立ち上げ、MAPを制作した「小金井江戸の農家みち」の村岡尚さんと

散歩がてらに野菜が買える 野菜スタンドストリート



戸の農家みちの会」の村岡尚さんと松嶋あおいさん。

「スーパーでは手に入らない、珍しい野菜やおろぬきなど規格外の野菜が手に入ることもあります。四季折々の農のある風景とともに、野菜たちとの出会いを楽しんでもらえればと思います」

「料金箱にコインを入れる方式の野菜スタンドは、小さな子の『お買い物物』レッスンにも最適。小金井公園で遊んだ帰りに買って帰る人も多いようです」

「のんびりゆったり歩いて、気のままに野菜を買う。一度味わうとやみつきになりそうな、小さな幸運スポットです。



桜天然酵母パン びおりーの

心と体がホッとするようなやさしい味わいのパンが食べたい日は、ここカンパニーニュがおすすめ。桜の天然酵母を使い、その日の気温や湿度も考え合わせて丁寧に発酵させたパンは、無添加だから、幼い子どもが食べても安心。フォカッチャも人気。



ファンタジスタ

東小金井駅近くのパン屋さん。毎日50~60種類ものパンが並ぶから「今日はどれにしよう…」と楽しく悩むお客様も多いとか。小金井産の野菜を特製クリームチーズと組み合わせた「ベジファンデュ」は、味わいのハーモニーが◎。こぎんちゃんの焼印が入った「こぎんちゃんあんパン」もどうぞ。



サラダ、和え物など色とりどりのお惣菜がお待ちかね。



PARITALY 福菜屋

地元野菜と地産商品の宅配、地元野菜中心のやおよや(丸田ストアー内)移動販売など、4つの形で地元野菜を届けているPARITALY。「パリタリー福菜屋」はそのうちの一つで、地元野菜をシンプルに調理し、薄めに味付けしたお惣菜を提供。野菜みじりの卵焼き、さつまいも本来の甘みを生かしたサラダなどのお惣菜はそのままでもよし、好みの調味料を加えてもよし、「おいしい!」の笑顔が広がります。



縁側のカフェへ
どうぞ。
テイクアウトも
OKです。

「まろみブレンド珈琲」「インドで覚えたチャイ」が人気。



旬野菜と国産小
麦で作ったパン
をどうぞ。
「小金井江戸の
農家みち」の「金
菜屋」では無農
薬野菜を量り売
り。

仕立てとおはなし処 Dozo 7

築80年の木造平屋建てのお店では、和裁小物販売と和裁教室、物語の口演、パンの販売、縁側カフェ…など、万華鏡のようにさまざまな活動を展開。何でもありのごちゃまぜ感がほどよい具合で落ち着いているお店は、知る人ぞ知るおもしろスポットです。なごみスペースでもある庭先の「金菜屋」で「小金井産の旬の野菜を買うのが楽しみ」というお馴染みさんも多い。



揚げ処 まさ竜 8

プロの料理人がひと手間もふた手間もかけ、小金井産の野菜をふんだんに使った串揚げと小鉢料理は、「感動的」という言葉がピッタリ。夜の「おまかせ串コース」は、揚げ物の間に季節の小鉢料理を少しづつはさむスタイルで、お客様はお腹いっぱいになつたら、自らオーダーストップ。カブ、さつまいも、ばんえいマッシュルーム、銀杏、そら豆…。「おお！」と野菜のおいしさをしみじみ感じるお店です。



揚げ串（カブ、タラの芽）もお
ひたし（ほうれん草）も小金
井産。（↑）カウンターでは野
菜がお出迎え。

くりやぶね 10



テイクアウトを中心に営業中。
お惣菜選びに悩むときは、おかずセットが
おすすめ。

創業当初から、地元の朝採れ野菜をたっぷり使ったヘルシーで家庭的な手作り料理を提供。毎日でも食べたくなるやさしい味わいの「地場野菜弁当」「江戸東京野菜弁当」の他、白和えや煮びたしなど各種お惣菜も人気。心を込めて丁寧に作られた素朴な味わいは、まさに小金井の「おふくろの味」です。

割烹 たけ 9

小松菜や寺島茄子など小金井産の食材を生かした料理が味わえるお店。「割烹」という名から和食のイメージが強いが、季節の彩りと遊び心あふれる料理は、自由そのもの。「新鮮な野菜のおいしさが奏でる和と洋のハーモニーをお楽しみください」と店主の海老原紀男さん。舌はもちろん、目も楽しませてくれる料理をぜひ味わって。



食べる・買えるお店

地元の野菜、どこで買えるの？ どこで味わえるの？

実は、小金井産の元気な野菜を扱うお店はたくさんあります。「お気に入りの農家さんの野菜」を見つけたり、食のプロが手がける美味に出会ったり、「新しい日常」を広げませんか？



小金井 ファーマーズ・マーケット 5

農協（JA）の直売所である小金井ファーマーズ・マーケット（通称ムーちゃん広場）。売り場面積100m²のお店には、小金井産の野菜がどっさり！ その他、キウイやレモンなどの果樹や、もみじといった庭木の購入も可能。「店頭がない場合は、園芸農家さんから取り寄せることもできます。樹種や樹高など、ぜひご相談を」と店長の桜井努さんもおすすめ。



植木も買える小金井ファーマーズ・マーケットへGo!



近所の農家から運ばれる野菜がぎっしり。



「●●さんの野菜がお気に入り」というファンも増加中。



「高校時代から
縁がある小金井
は地元のよう」と
小畠さん。

いなげや 小金井東町店 6



東町店では、約20軒の農家が協力。

市内3店舗のいなげや（東町店、本町店、貫井南店）では、地元野菜のコーナーを設置。中でも、東町店はスペースが大きく、野菜の種類も豊富。「一日数回に分けて農家さんが畑から野菜を運んできてくれるの、夕方でも売れ切れの心配はありません」と店長の小畠成弘さん。地元野菜のおいしさを知る年配のお客さんにも、子どもに安心安全な野菜を食べさせたい子育て世代にも大人気だとか。

小金井このまちガイドマップ

各スポットの詳しい情報は、小金井市観光まちおこし協会公式HPにてご確認ください▶



chap-1 自然であそぶ

- 1 野川 p4・p10
- 2 都立武蔵野公園 p5・p11
- 3 都立野川公園 p5・p11
- 4 WISE MAN COFFEE p5
- 5 握飯屋 p5
- 6 三楽の森 p6
- 7 はけの森美術館 美術の森緑地 p6
- 8 貢井神社 p6・p13
- 9 ムジナ坂 p7
- 10 滄浪泉園 p7
- 11 ワイルド・チェリー・ブロッサム・ホステル p7
- 12 musashino はけの森カフェ p7
- 13 都立小金井公園 p8・p10
- 14 浴恩館公園 p9
- 15 玉川上水緑道 p9・p10
- 16 Cafe5844 p9
- 17 リトルシープ p9
- 18 江戸東京たてもの園 p11
- 19 小金井神社 p12
- 20 山王稻穂神社 p12
- 21 八重垣稻荷神社 p12
- 22 笠森稻荷神社 p12
- 23 長昌寺 p13
- 24 三光院 p13

chap-2 エンタメが充実

- 1 和風ジェラート おかじ TOKYO p17
- 2 ケーニッヒ p17
- 3 すうぶ屋でみCafe p20
- 4 出茶屋の小屋 p20

chap-3 この街で働く

- 1 Sofar p22
- 2 丸田ストアー p23
- 3 Coffee with 4 Elements p23
- 4 コネクテッドロボティクス p24
- 5 LIGUNA あきゅらいず p24
- 6 ヨシタ手工業デザイン室 p25
- 7 KO-TO p25
- 8 PO-TO p25
- 9 MA-TO p25
- 10 農工大・多摩小金井
ベンチャーボート p25

Let's
KOGANEI
LUNCH!!

1 とんかつ丸八



ラード油を使って揚げたとんかつは、肉のうまみを引き出す極上の味わいです。

2 田舎うどん かもkyu



ボリュームたっぷりの「かも汁つけうどん」が一番人気。つけめんの汁は常時15種類用意があります。

3 うなぎ田川



文化人も通う昭和45年の老舗うなぎ店。静岡産の活ウナギを注文後にさばいて焼きます。

**4 DINER KENBO
(炭火焼魚弁当けんぼ)**



キッチンカーでお弁当を販売。種類も豊富でボリュームたっぷり。予約で配達もあります。



アイコン解説
 ●公園 ○観光 □施設 ▲神社 ○寺院 □カフェ
 ▲飲食店 ●ショッピング ●スイーツ
 ◎郵便局 △神社 ▲寺院 X:交番・警察署 文:学校 ♀:トイレ

chap-4 小金井カルチャー

- p26 きたまちセンター図書館
- p27 江戸東京たてもの園
- p27 はけの森美術館
- p28 小金井市環境楽習館
- p28 東京農工大学科学博物館
- p28 小金井 宮地樂器ホール
- p29 東京学芸大学
- 環境教育研究センター教材植物園
- p29 小金井市文化財センター

chap-5 地域をつなぐ

- p30 大久保園
- p31 meray
- p32 ROCK'N KITCHEN あいたい屋
- p32 Cafeりあん フラワー工房さくら
- p33 たち寄り処 森のこみち
- p33 地域の寄り合い所 また明日

chap-6 子どもを笑顔に!

- p35 フォレストマム
- p35 にしまきごはん
- p36 はだめし
- p36 キュクロプロスケッチ
- p37 とをが
- p37 もぐもぐ子ども調理室

chap-7 地元野菜で健康に

- p40 PARITALY 福菜屋
- p41 江戸の農家みち
- p41 ファンタジスタ
- p41 桜天然酵母パン びおりーの
- p42 小金井ファーマーズ・マーケット
- p42 いなげや小金井東町店
- p43 仕立てとおはなし処 Dozo
- p43 揚げ処 まさ竜
- p43 割烹たけ
- p43 くりやぶね

小金井ランチ&みやげ

- p45 とんかつ丸八
- p45 田舎うどん かもkyu
- p45 うなぎ田川
- p44 DINER KENBO
- p46 オーブン・ミトン
- p46 葓子工房 ピルドルセ
- p46 コガネイチーズケーキ
- p46 亀屋本店
- p46 新小金井亀屋
- p46 和菓子処ならは
- p46 進藤洋菓子店
- p46 TERAKOYA
- p46 ヤマコヤ アトリエテンポ内
- 小金井市観光まちおこし協会

小金井市内
各所で
好評発売中!

小金井市イメージキャラクター こきんちゃんグッズ



© Studio Ghibli

こきんちゃんは、平成20年に
市制施行50周年を記念して
アニメーション映画監督の
宮崎駿さんに制作していた
だいた小金井市のイメージ
キャラクターです。



1.ぬいぐるみS ¥2,300

2.がまぐち ¥800

3.ピンバッヂ ¥600

4.チャーム ¥600

5.おさんぽランチバッグ ¥3,500

6.てぬぐい(3種類) 各¥880

7.クリアフォルダー(2種類) 各¥280

8.文具セット ¥880

9.クッキー ¥648【販売店】ケーキハウス

10.あんぱん ¥160(季節限定品は別価格)
【販売店】手作りパンの店 ファンタジスタ
11.チバベビーコキンちゃん 1個¥50(あんこ入りは¥60)
【販売店】金青堂 GOLD BLUE

*価格はすべて税込み表記 (1~8:10% 9~11:8%)

その他の取扱店情報など
詳しくは、小金井市商工会 HP
こきんちゃんグッズページへ

[こきんちゃんグッズ取扱店]

(一社)小金井市観光まちおこし協会/小金井市商工会/ドコモショップ nonowa 東小金井店 ほか

CoCoバス 小金井市コミュニティバス CoCoバス

小金井市内を循環するさくら色のバス・CoCoバスをぜひご利用ください。

CoCoバスは、市内5カ所を循環する
コミュニティバスです。
運賃は大人も子どもも1回100円(未
就学児は無料)。市内5つのエリアを
20分~30分間隔で循環しています。

- 北東部循環
- 貫井前原循環
- 東町循環
- 中町循環
- 野川・七軒家循環
(ココバス・ミニ)



ミトンズシュークリーム [左] オープン・ミトン 5

コクと重厚感のあるカスタードクリームは、一度味わった
ら忘れないほどの絶品。

黄金井ココ [左奥] 米粉の黄金井バフ [右奥]

菓子工房ビルドルセ 6

ふわふわ生地に自家製クリームが詰まった生菓子や、米
粉を使った無添加の焼き菓子が人気。

チーズケーキ [右] コガネイチーズケーキ 7

低糖質で体にも優しい味わい。季節ごとに変わる旬のチ
ーズケーキもあり種類も豊富。



しんどうロール [左] 進藤洋菓子店 11

弾力のある生地とフレッシュなフルーツ、ミル
キーなクリームの組み合わせが美味しい。

オリーブ・サンド [右] TERAKOYA 12

シロップ漬けのオリーブと特製クリームをフラ
ンス風ピスキュイで挟んだ、世界初の味。



小金井このまちガイド

発行日 2021年3月12日

表紙:都立武蔵野公園 くじら山 写真 井上茂 イラスト やまさき薫

デザイン twostep/アソナリエコ/川上明子/安田桂子

編集 編集制作アイモ/安達友絵/小橋桜子/橋本恵子/ひだいますみ

見野歩/安田桂子

写真 井上茂/まるんレポーターほか

イラスト やまさき薫 イラスト地図 古結あかね

制作 リュエル・スタジオ

連動企画 こびとづかん(ロクリン社)/サプラニア

小金井市観光まちおこし協会SNS



発行 一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会 14

住所 小金井市本町6-5-3 シャトー小金井1F TEL 042-316-3980

小金井は
ハイレベルなスイーツの
お店が多く
自宅で楽しんでも
手土産としても
喜ばれるおいしさに
出会えます。

こがねい
みやげ



6~17



©TN

ヤマコヤ:表紙と本文にイラ
ストを書いてくれたやまさき薫
さんの絵とデザインのお店。5
組の作家がシェアする工房兼
ショップ、アトリエテンボ内に
あります。

地域の情報を発信する新しい公開路上番組

まちなかLIVE KOGANEi! & 突然ニュース☆ コガネイ!



YouTubeチャンネルでも
配信するよ！



地図
おもなまち歩きコース
マップ
大勢情説
パフォーマンス
マチ歩き

情報発信

小金井市
観光まちおこし協会の

マスター木村

定期発行フリーぺーぺー
& webサイト

まろん通信



10人の
市民レポーターが、
街の魅力を
記録します！



市内の名所に
お連れします！



まちなか観光案内



ボランティア
ガイドと一緒に
楽しくまち歩き
しませんか？



一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会

〒184-0004 東京都小金井市本町6-5-3 シャトーカミヤ1階
TEL/042-316-3980